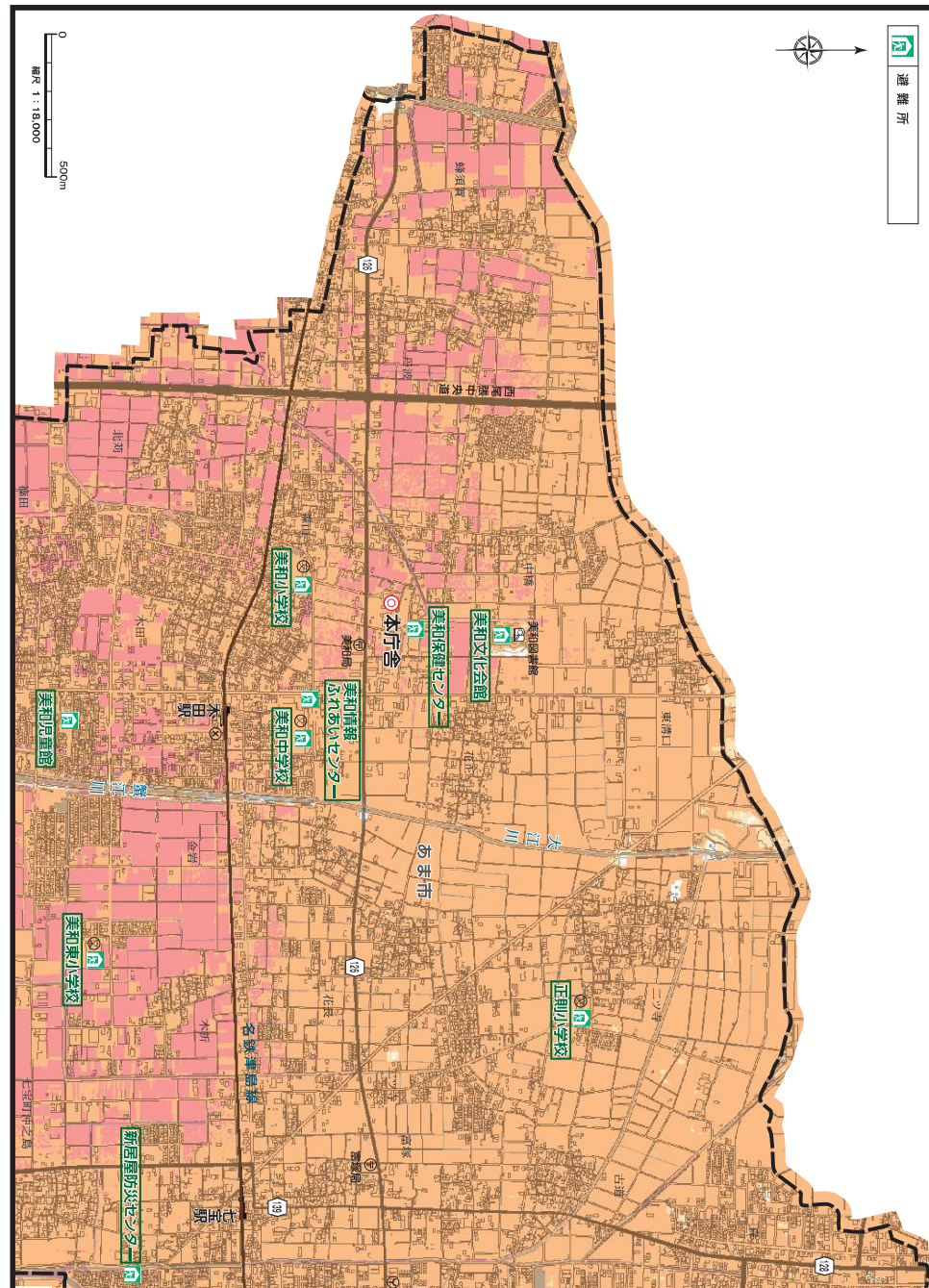
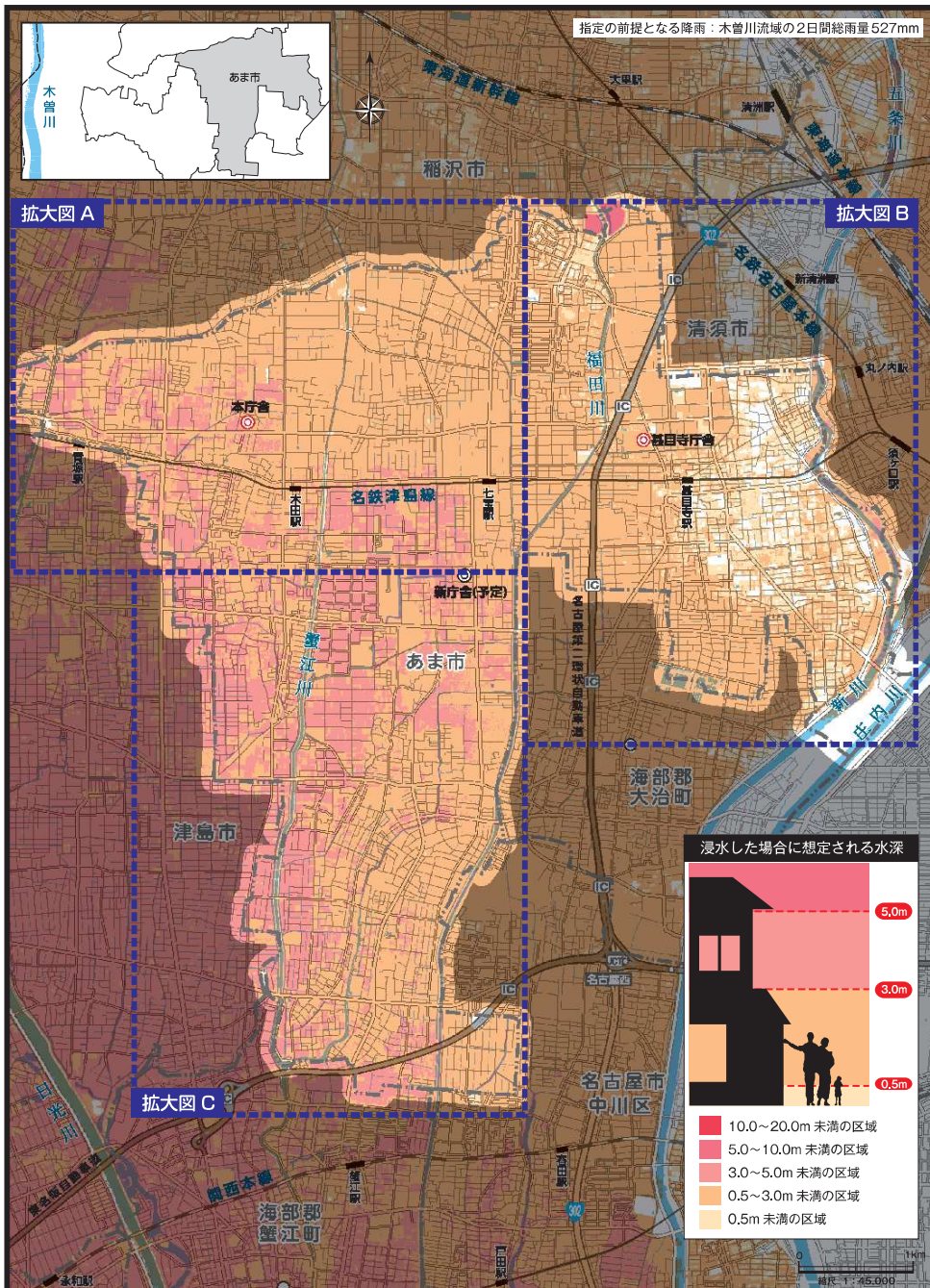
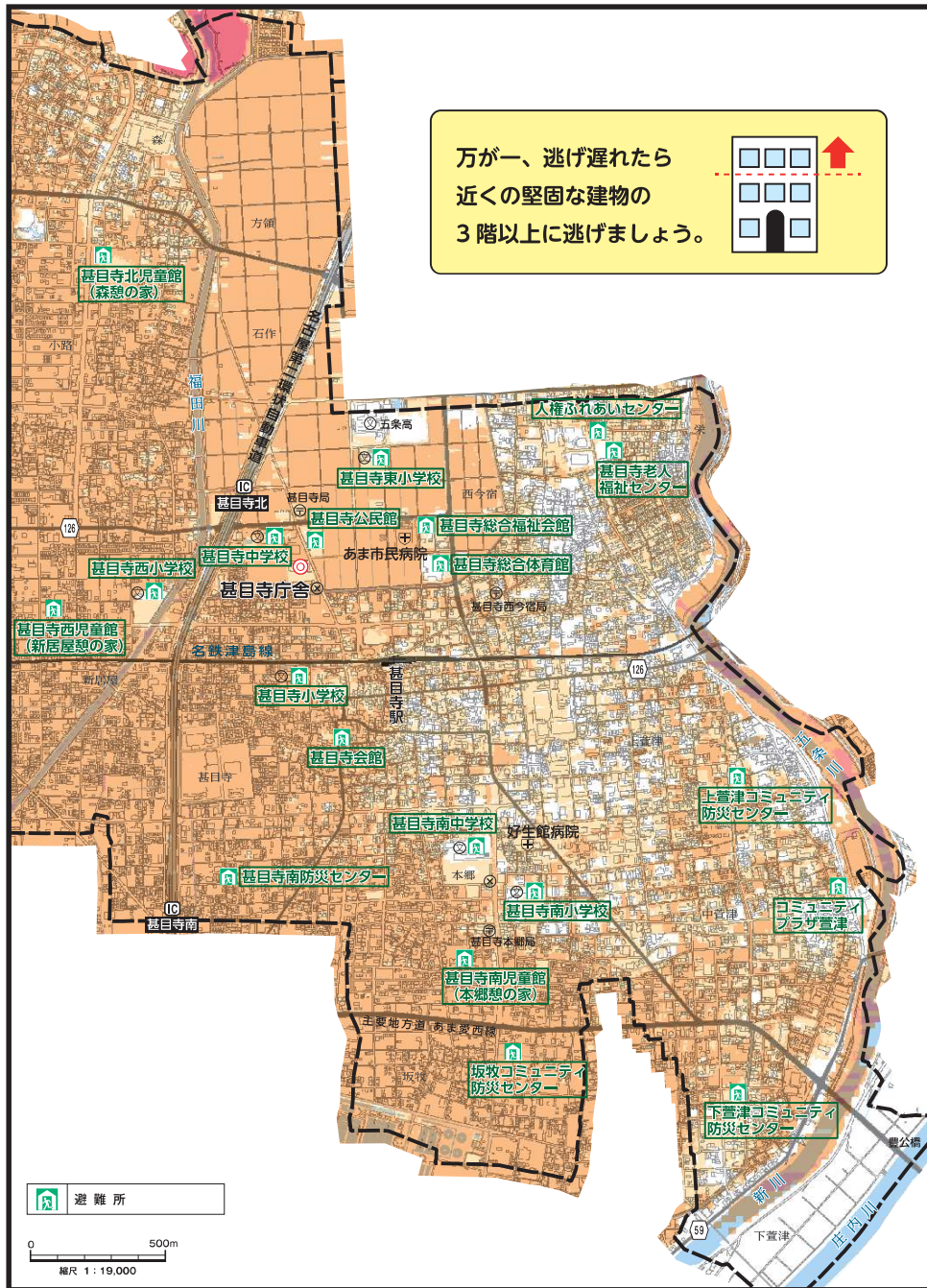


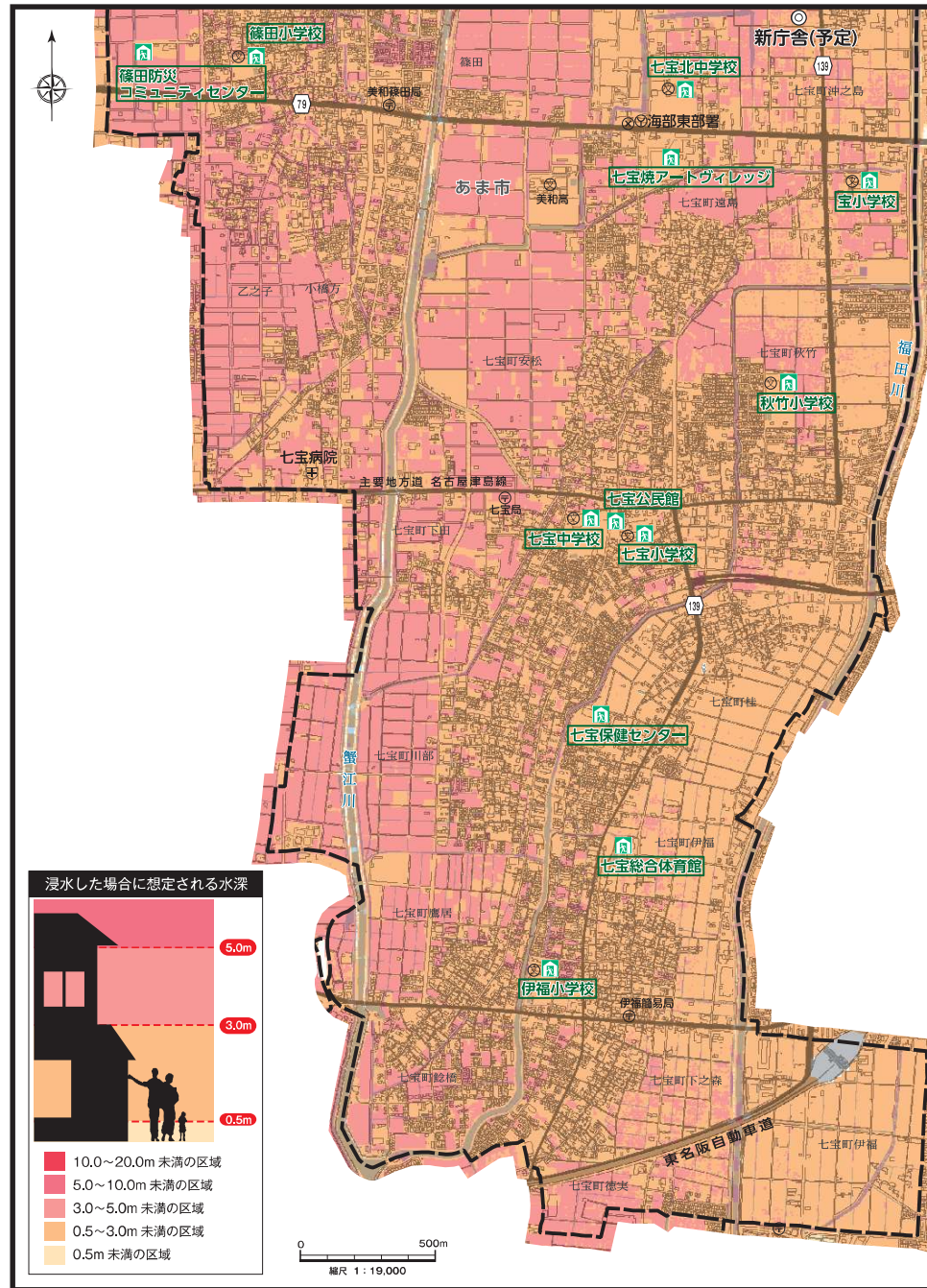
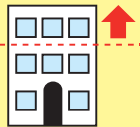
木曽川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)

拡大図 A

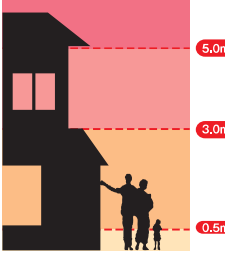




万一、逃げ遅れたら
近くの堅固な建物の
3階以上に逃げましょう。



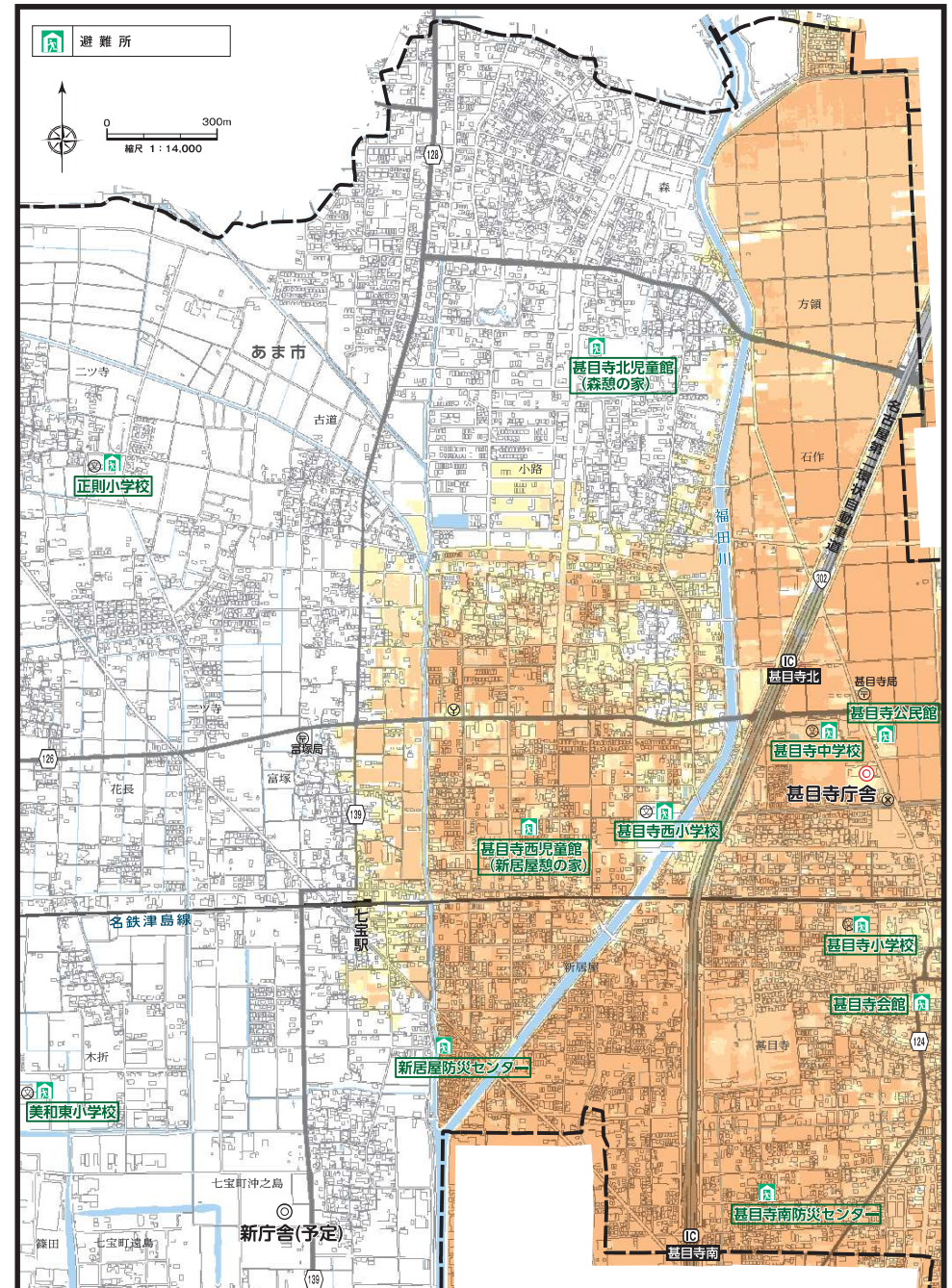
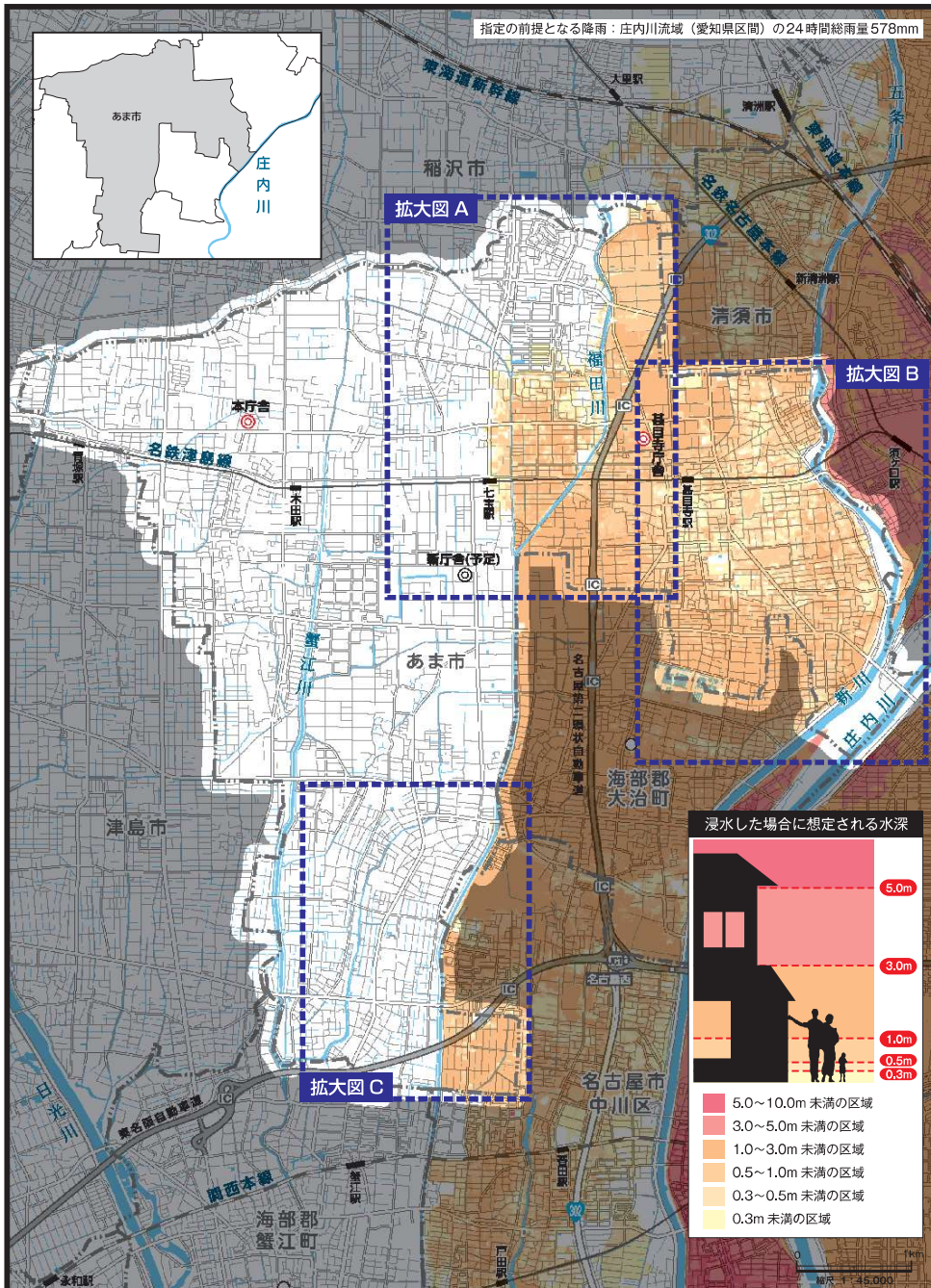
浸水した場合に想定される水深



- 10.0~20.0m 未満の区域
- 5.0~10.0m 未満の区域
- 3.0~5.0m 未満の区域
- 0.5~3.0m 未満の区域
- 0.5m 未満の区域

庄内川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)

拡大図 A

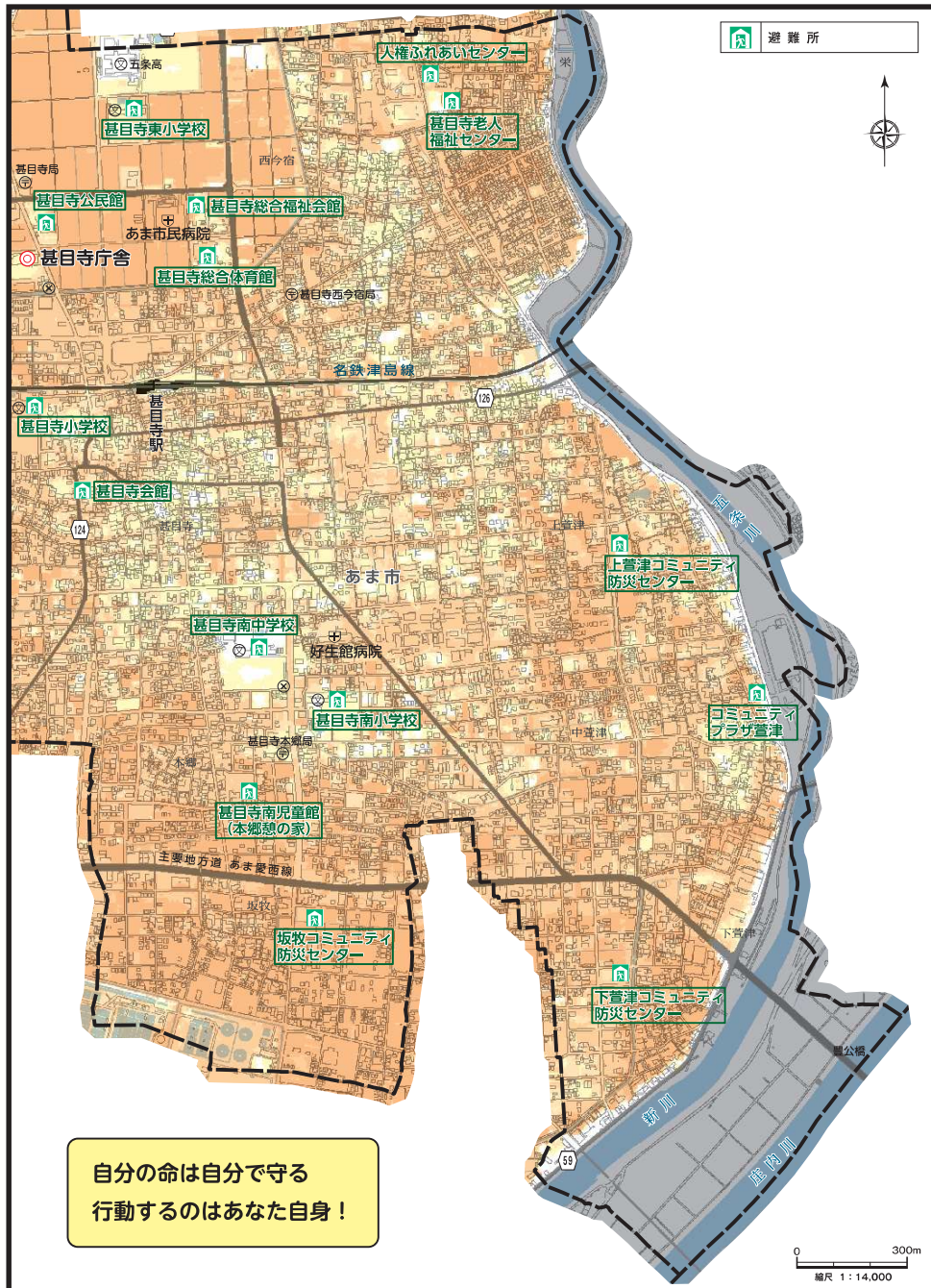




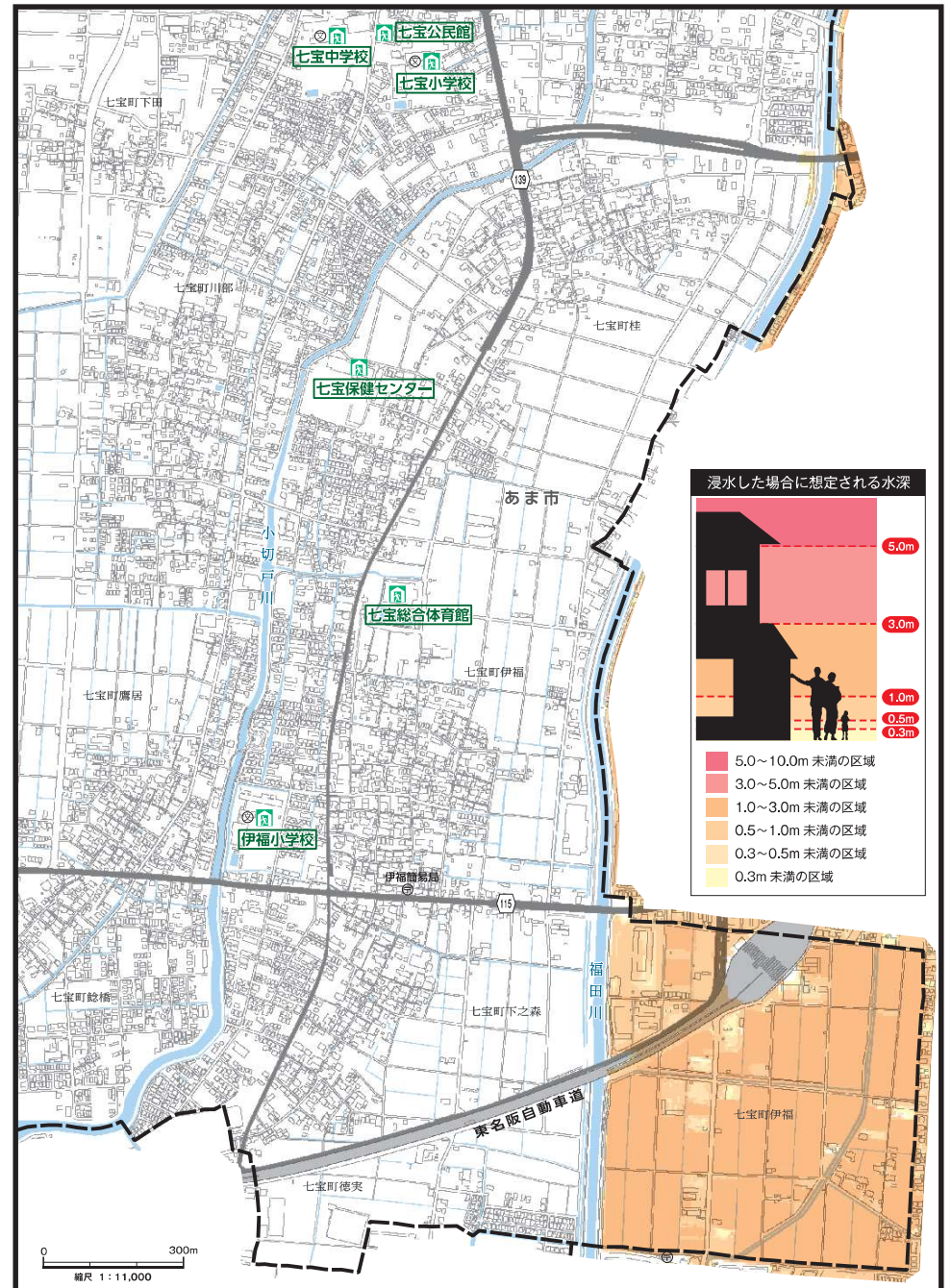
庄内川

洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)

拡大図 B

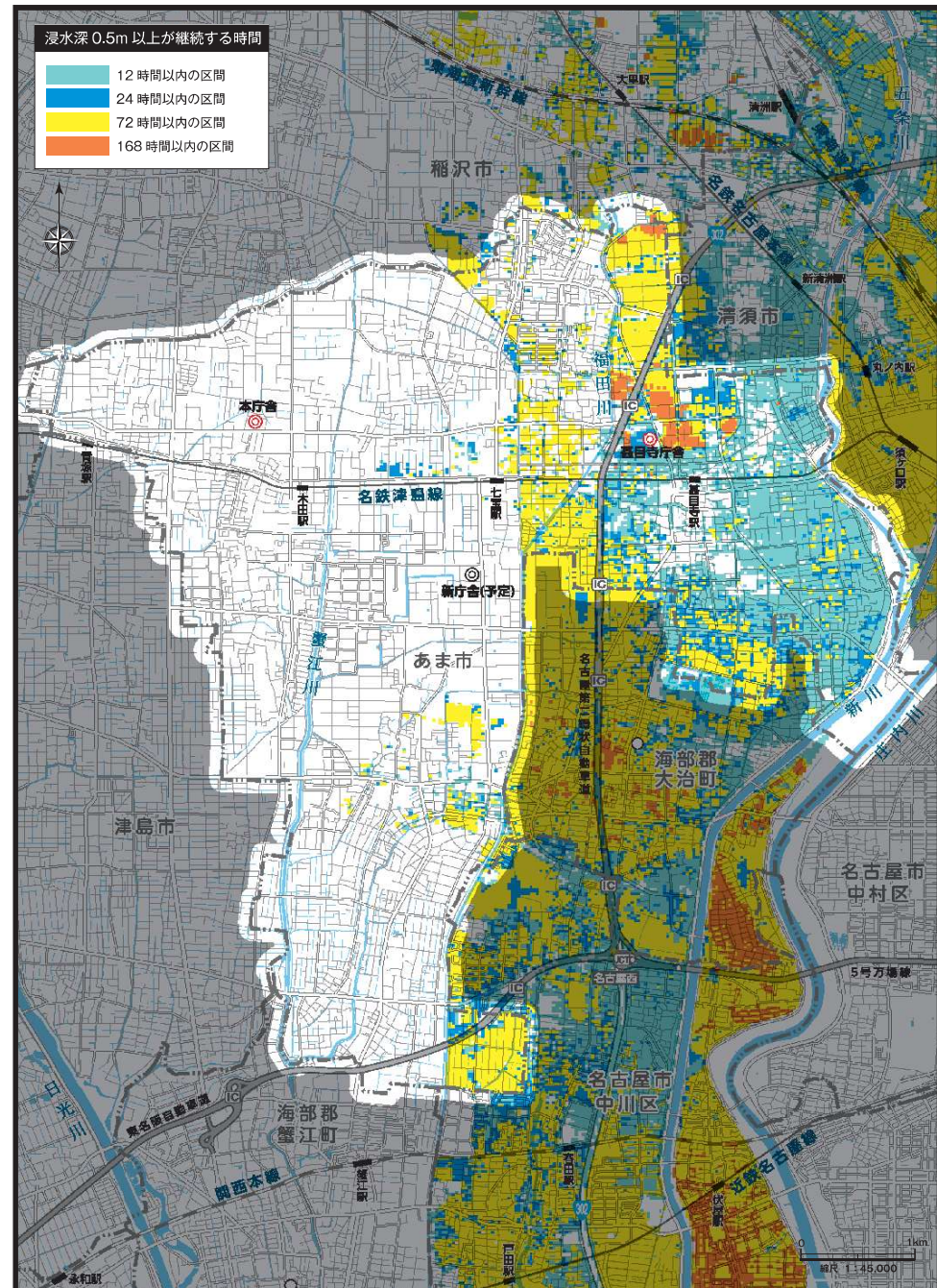
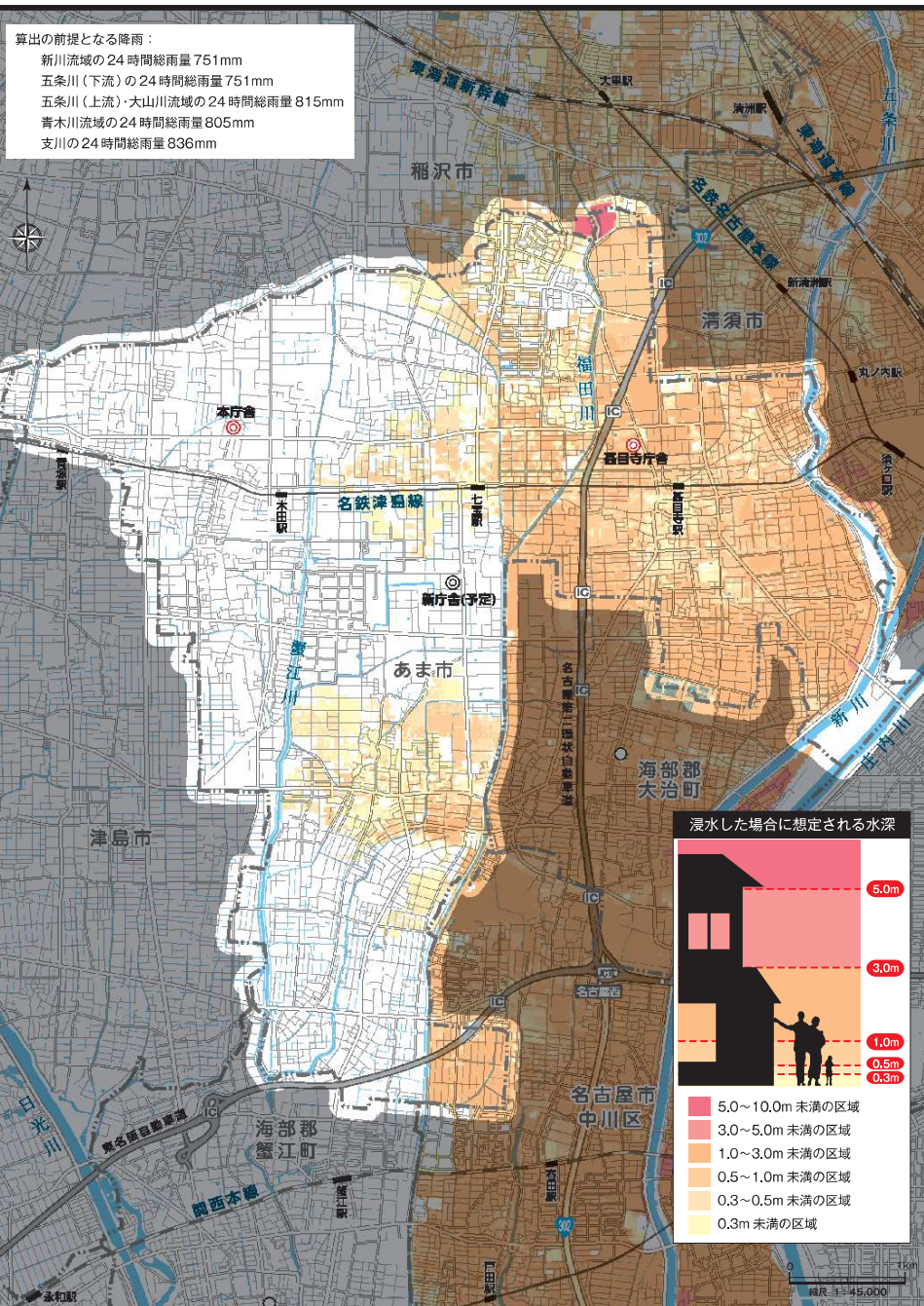


拡大図 C



庄内川水系新川流域 浸水予想図 (想定最大規模)

(浸水継続時間)



日光川水系日光川流域 浸水予想図 (想定最大規模)

(浸水継続時間)

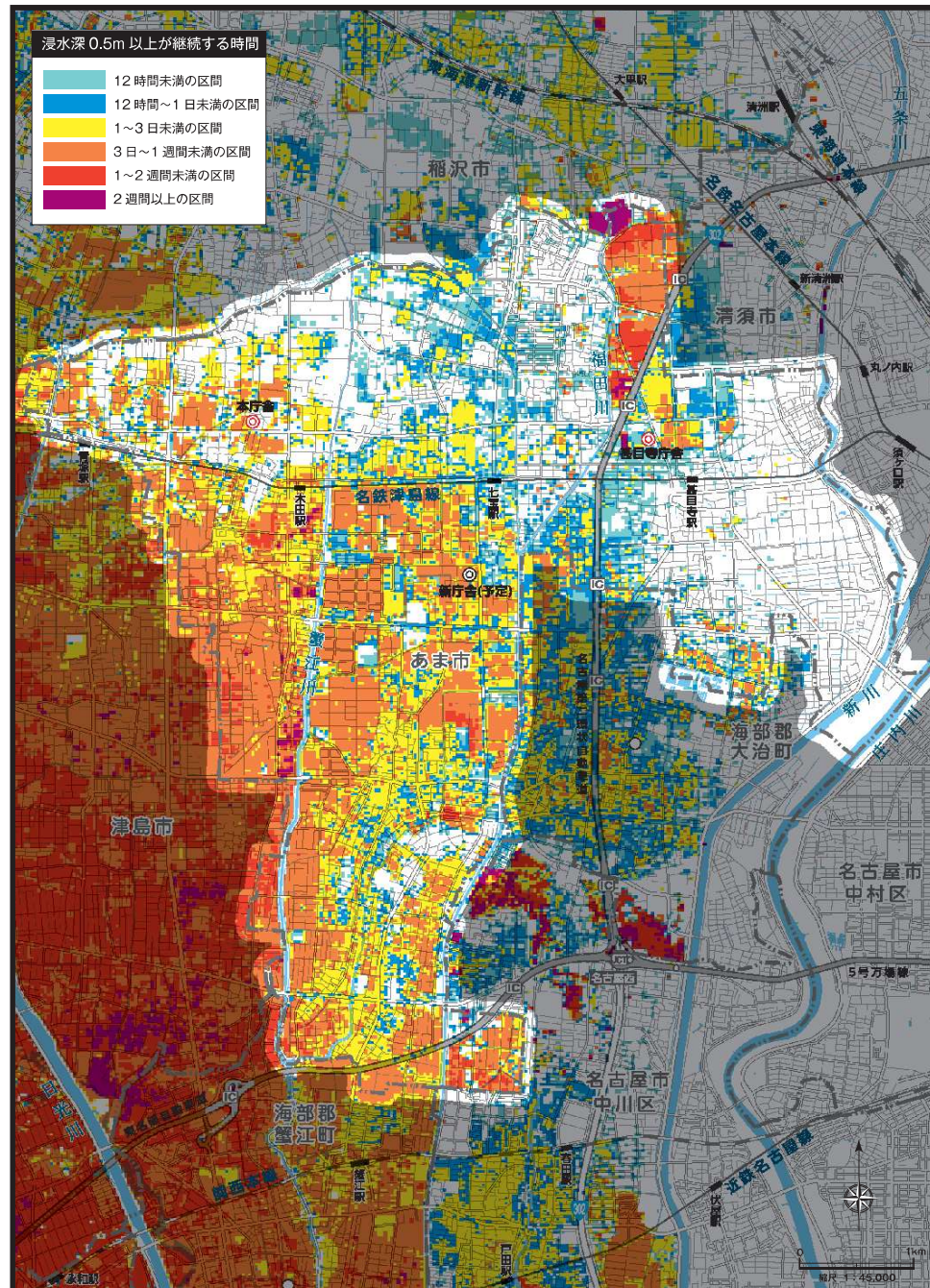
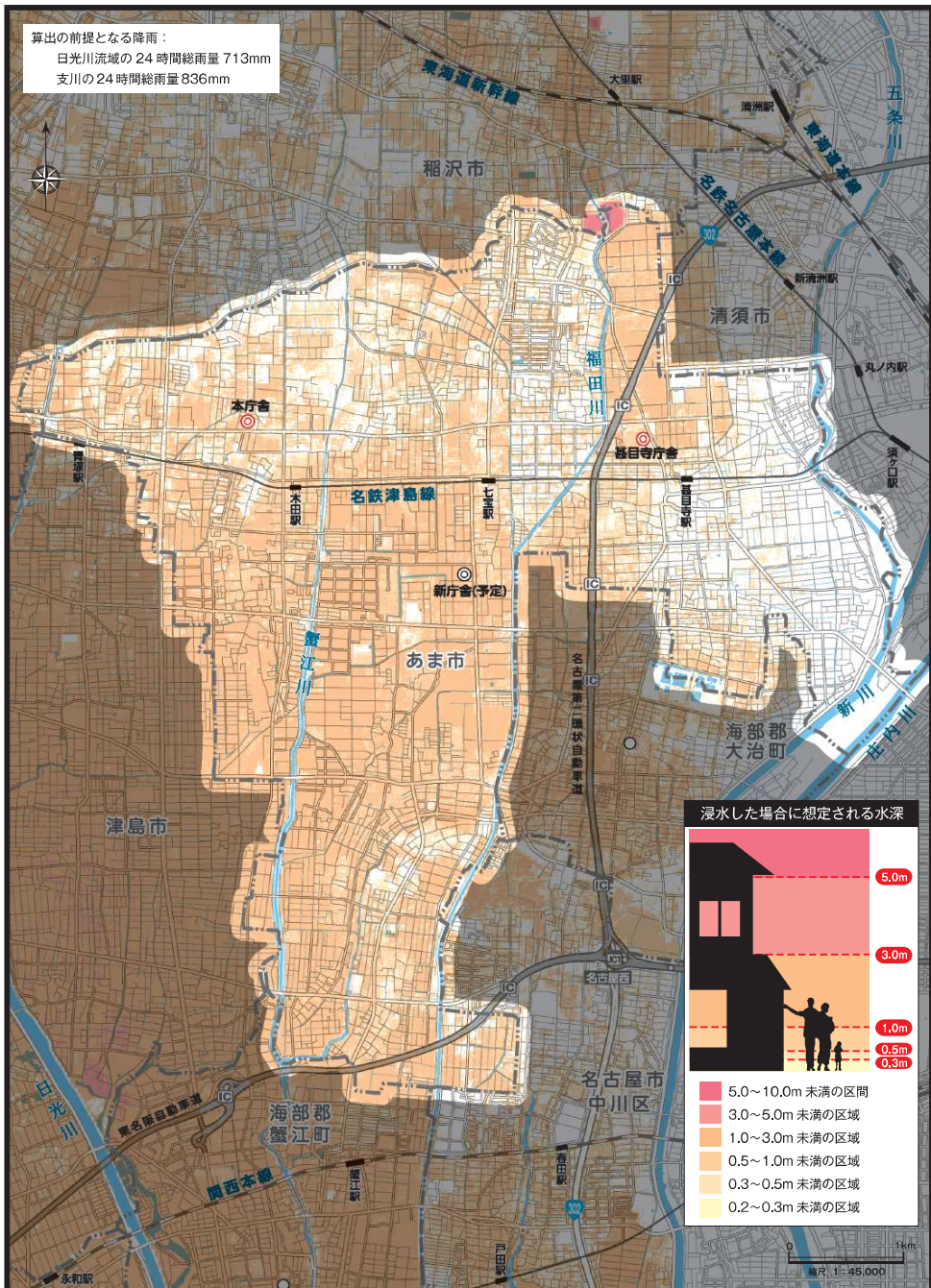
避難所マップ

風水害編

地震編

その他の災害編

避難と準備編



避難所マップ

風水害編

地震編

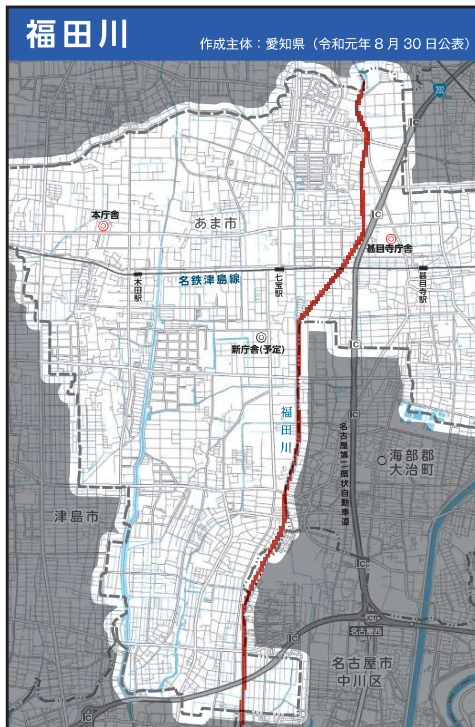
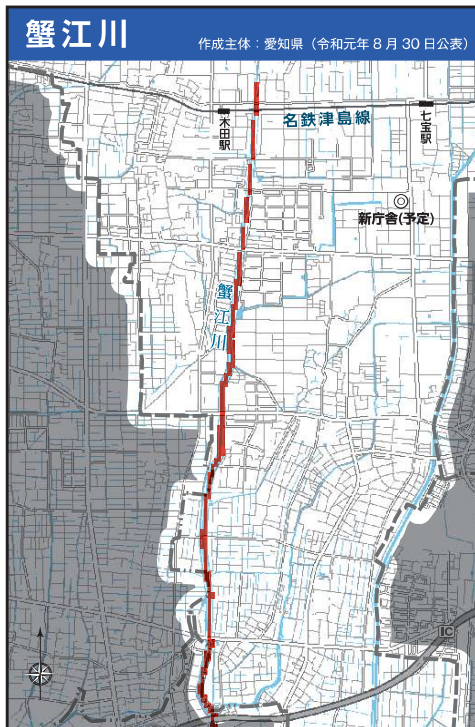
その他の災害編

避難と準備編

洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食))

想定し得る最大規模の降雨による洪水時に堤防が浸食され、その背後にある家屋が流出・倒壊することが想定される区域を示したものです。算定の前提となる降雨は洪水浸水想定区域図と同じです。

■ 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食によるもの)



【禁無断複製】 ©2021 ZENFIN CO., LTD.

現在の川の水位はどのくらい?

国土交通省ウェブサイト「川の防災情報」では、川の水位と氾濫の危険性をリアルタイムでお知らせしています。

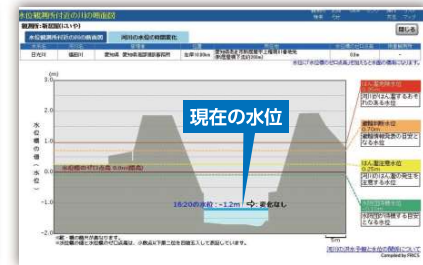
川の防災情報

水位観測所付近の川の断面図

観測所：木田



観測所：新居屋



出典：国土交通省 川の防災情報ホームページ (<https://www.river.go.jp/portal/>)

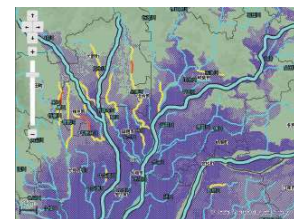
気象庁が発表する危険度分布を活用しよう

洪水警報の危険度分布とは

3時間先までの雨量予測を用いた流域雨量指数の予測値が、洪水警報等の基準に到達したかどうかを地図上に5段階で色分け表示したもので、常時10分毎に更新しており、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。大河川が対象となる「指定河川洪水予報」も一緒に表示されます。

危険度分布 洪水

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>



表示例：気象庁ホームページ

洪水警報の危険度分布

- 極めて危険
- 非常に危険【警戒レベル4相当】
- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】
- 今後の情報等に留意

指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。

- 高
- 危険度
- 低

- 氾濫発生情報【警戒レベル5相当】
- 氾濫危険情報【警戒レベル4相当】
- 氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】
- 氾濫注意情報【警戒レベル2相当】
- 発表なし

大雨警報 (浸水害) の危険度分布とは

短時間強雨による浸水害発生の危険度の高まりの予測を示したもので、大雨警報 (浸水害) 等が発表されたときに、どこで危険度が高まるかを面的に確認することができます。1時間先までの表面雨量指数の予測値が大雨警報 (浸水害) 等の基準値に到達したかどうかで、危険度を5段階に判定し、色分け表示しています。



表示例：気象庁ホームページ

大雨警報 (浸水害) の危険度分布

- 極めて危険
- 非常に危険
- 警戒
- 注意
- 今後の情報等に留意

危険度分布 大雨

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>

出典：気象庁ホームページ 知識・解説 (<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuknowledge.html>)

避難のタイミング

防災情報はいろいろあるけどいつ避難すればいいの？

警戒レベル 4 で全員避難!!

逃げ遅れゼロへ!

危険な場所から警戒レベル3で(高齢者などは避難)、警戒レベル4で(全員避難)です。

警戒レベル5はすでに災害が発生している状況です。

警戒レベル5が出てもまだ避難できていない場合は、自宅の少しでも安全な部屋に移動したり、すぐ近くに安全な建物があればそこに移動するなど、命を守るための最善の行動をとってください。

避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

[警戒レベル]で避難のタイミングをお伝えします。



[警戒レベル5] (市町村が発令) は既に災害が発生している状況です。



それぞれの警戒レベルに相当する情報を、**早めの避難行動の判断**に役立ててください。市町村からの**避難勧告等の発令**に留意するとともに、避難勧告等が発令されていなくても**自ら避難の判断**をしてください。警戒レベル5の状況では災害が発生して避難できなくなることから、市町村が発する警戒レベル3や4の段階で避難することが重要です。

警戒レベル	1	2	3	4	5
住民がとるべき行動	災害への心構えを高める	ハザードマップ等で避難行動を確認	高齢者等は速やかに避難	速やかに避難	災害がすでに発生しており、命を守るための最善の行動をとる
市の対応			避難準備・高齢者等避難開始	避難指示(緊急) 避難勧告	災害発生情報
気象庁等の情報	早期注意情報 (警報の可能性)	大雨注意報 洪水注意報	大雨警報 洪水警報	土砂災害警戒情報	大雨特別警報
危険度分布		注意(注意報級)	警戒(警報級)	非常に危険 極めて危険	
指定河川洪水予報		氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫発生情報

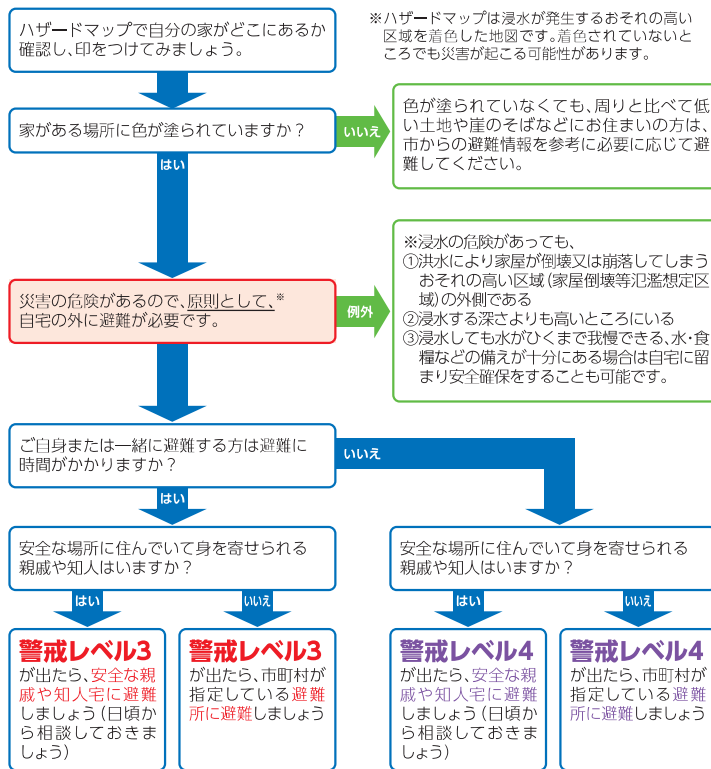
いつ避難するのか? 避難行動判定フロー

平時に確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は? **必ず取組みましょう**

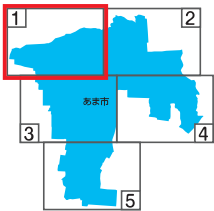


避難先は小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

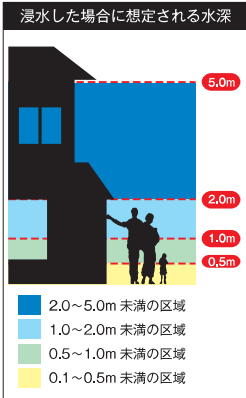




内水ハザードマップ 1



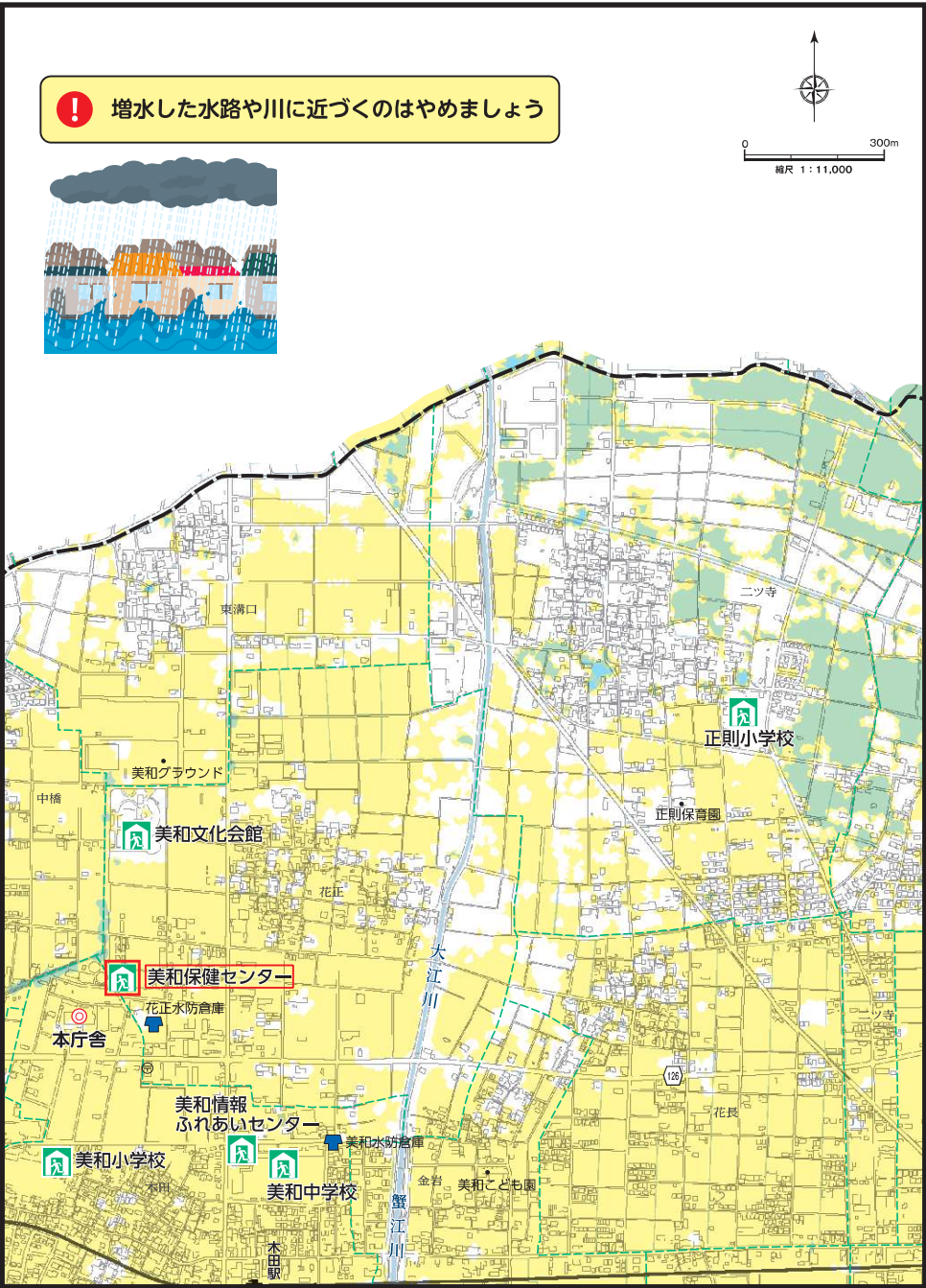
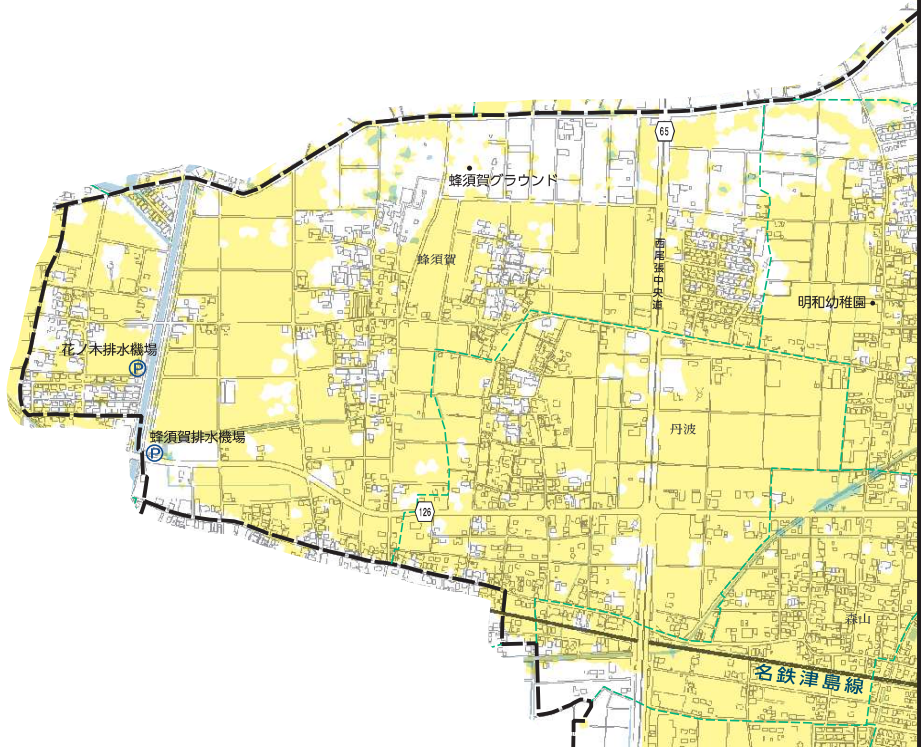
- 風水害時、最も早い段階で開設される避難所
- 災害の規模等に応じて開設される避難所
- 排水機場
- 水防倉庫
- 地下道 (避難時危険箇所)



このマップは、平成 24 年当時の地形図を基に解析したデータで作成されています。

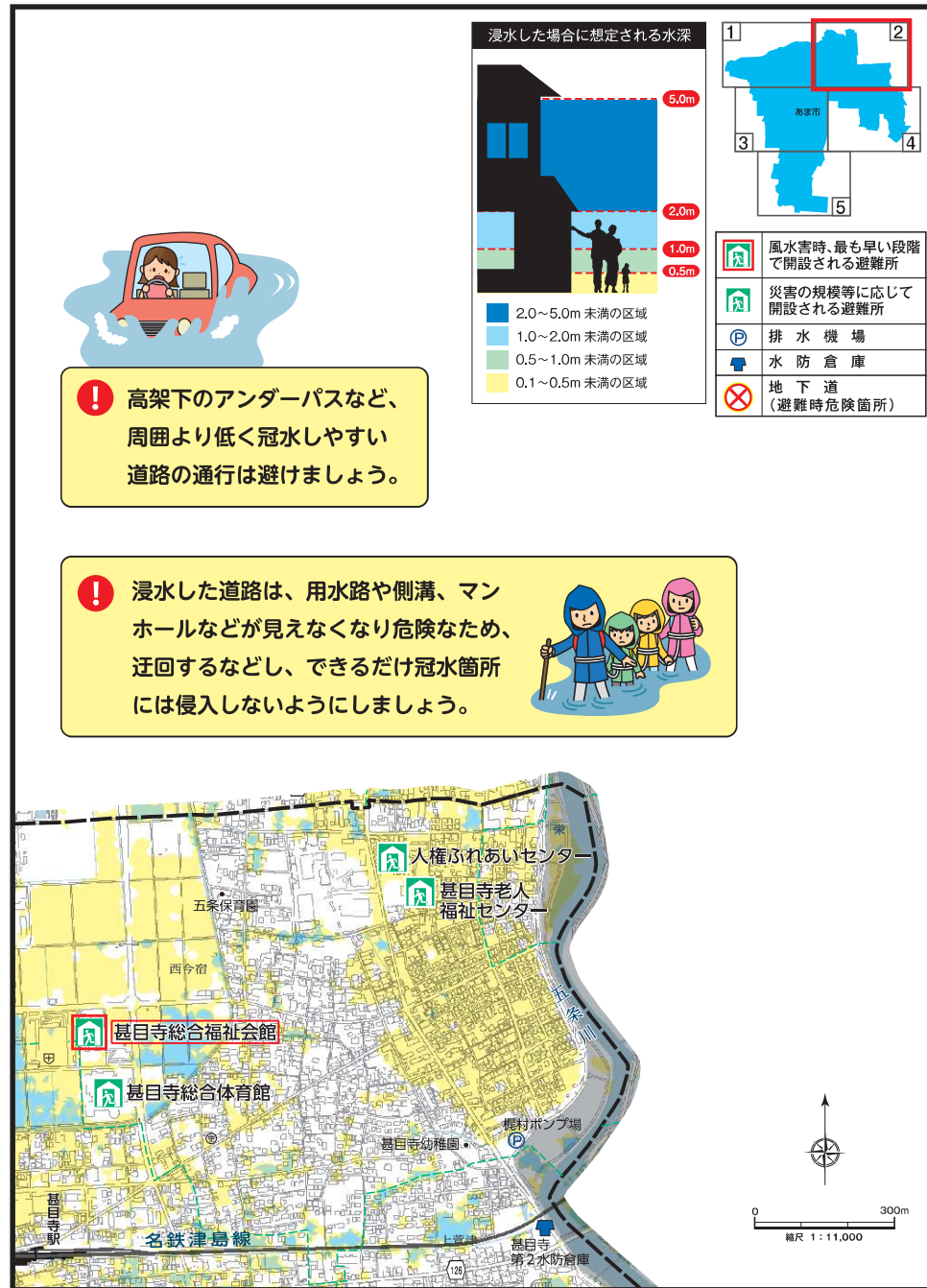
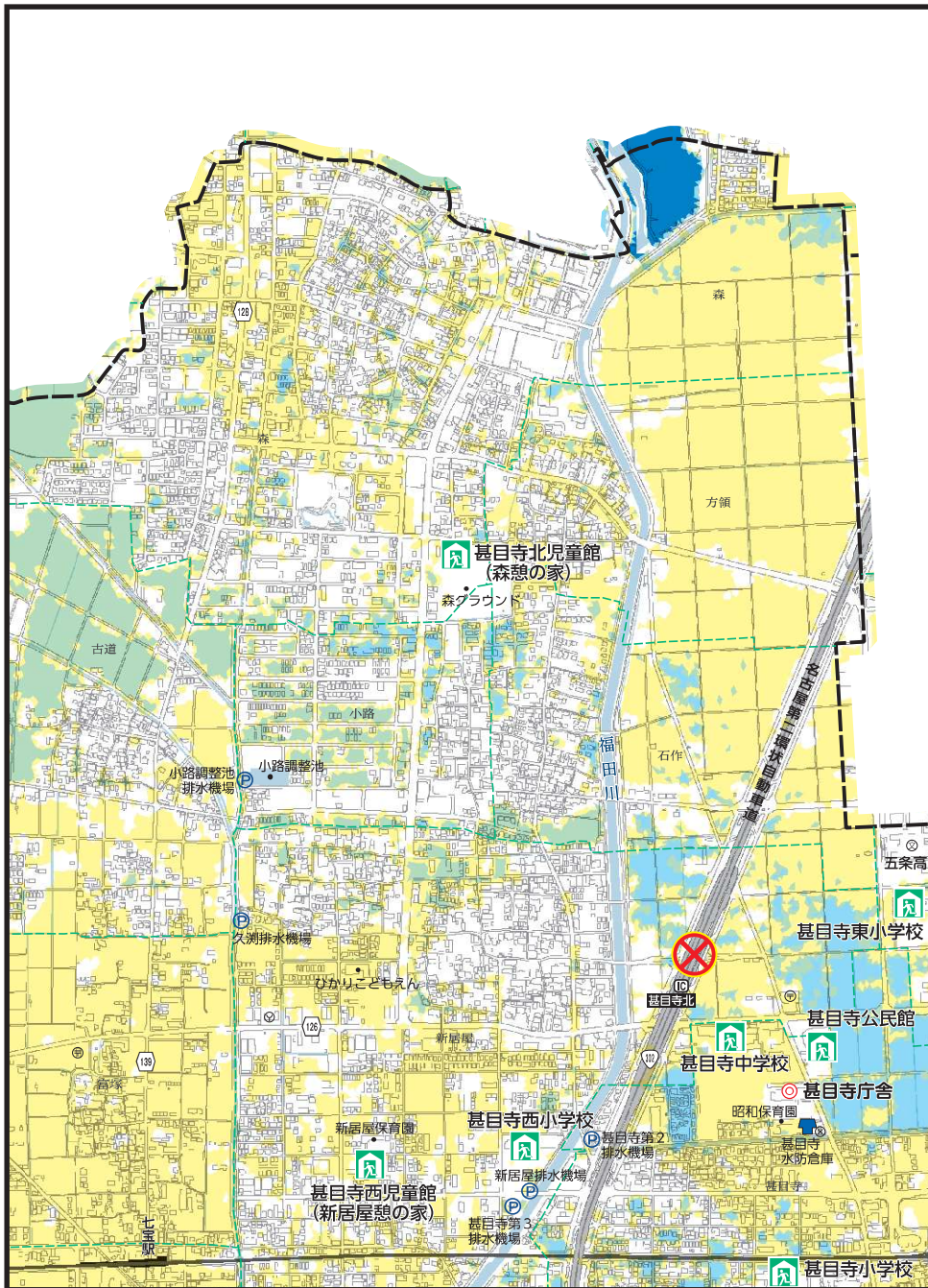
浸水を予想するための雨の量は、1時間当たり 83mm (計画規模で外水氾濫が起こる直前の雨) を想定しています。

庄内川や新川、五条川、福田川、蟹江川などの河川水位が上昇し、堤防を越えて水があふれた場合や、堤防が決壊した場合に発生する外水氾濫は考慮していません。



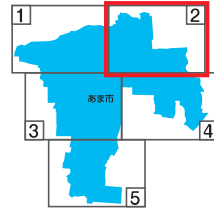


内水ハザードマップ 2



浸水した場合に想定される水深

- 2.0~5.0m 未満の区域
- 1.0~2.0m 未満の区域
- 0.5~1.0m 未満の区域
- 0.1~0.5m 未満の区域



- 風水害時、最も早い段階で開設される避難所
- 災害の規模等に応じて開設される避難所
- 排水機場
- 水防倉庫
- 地下道 (避難時危険箇所)



! 高架下のアンダーパスなど、周囲より低く冠水しやすい道路の通行は避けましょう。

! 浸水した道路は、用水路や側溝、マンホールなどが見えなくなり危険なため、迂回するなどし、できるだけ冠水箇所には侵入しないようにしましょう。



避難所マップ

風水害編

地震編

その他の災害編

避難と準備編

避難所マップ

風水害編

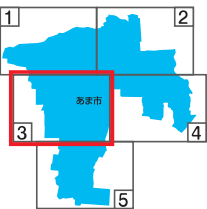
地震編

その他の災害編

避難と準備編

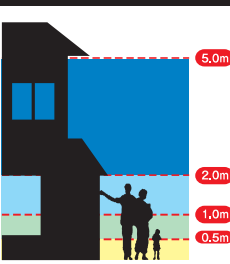


内水ハザードマップ 3

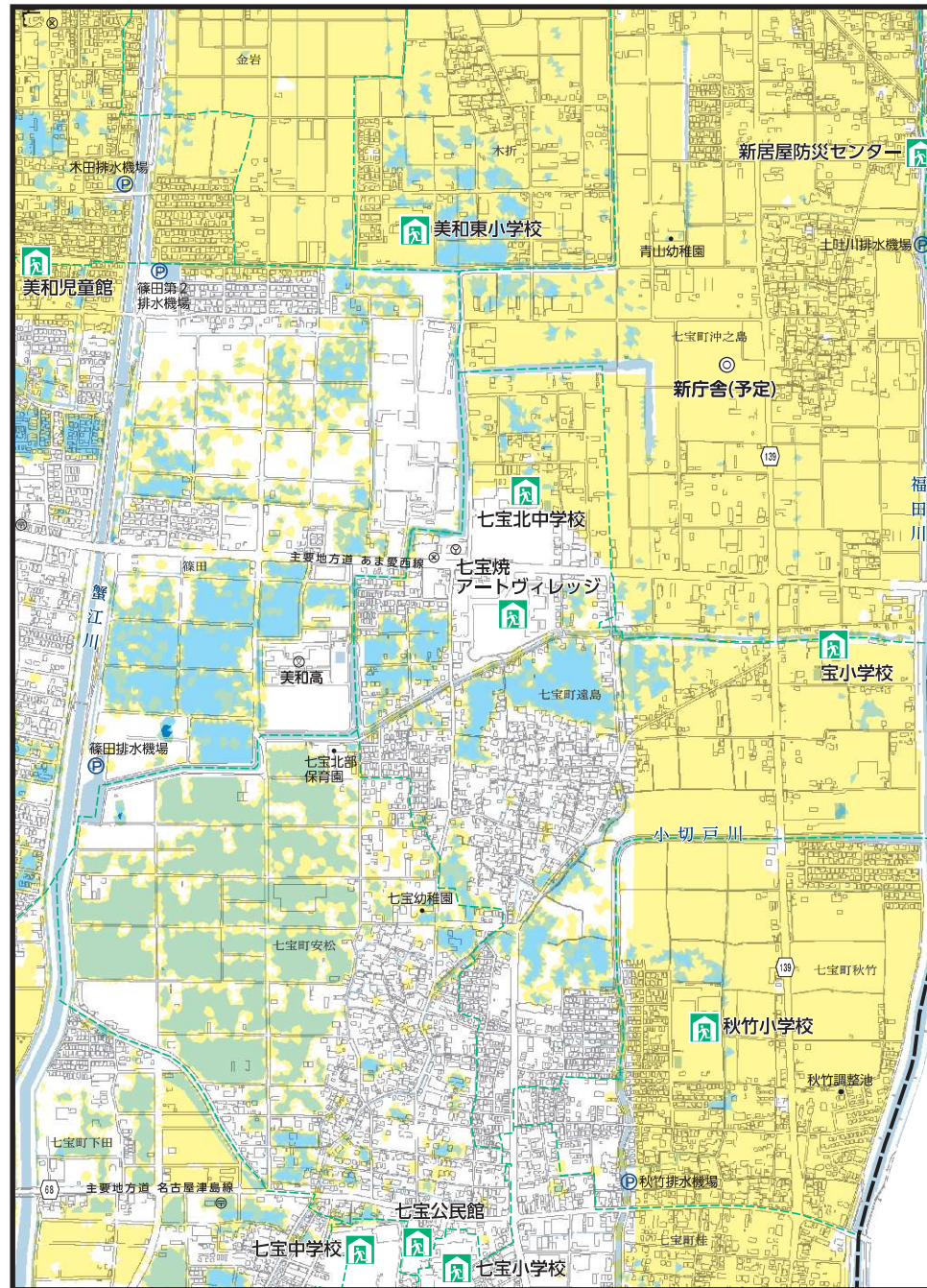
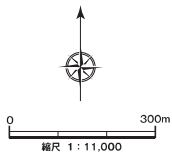
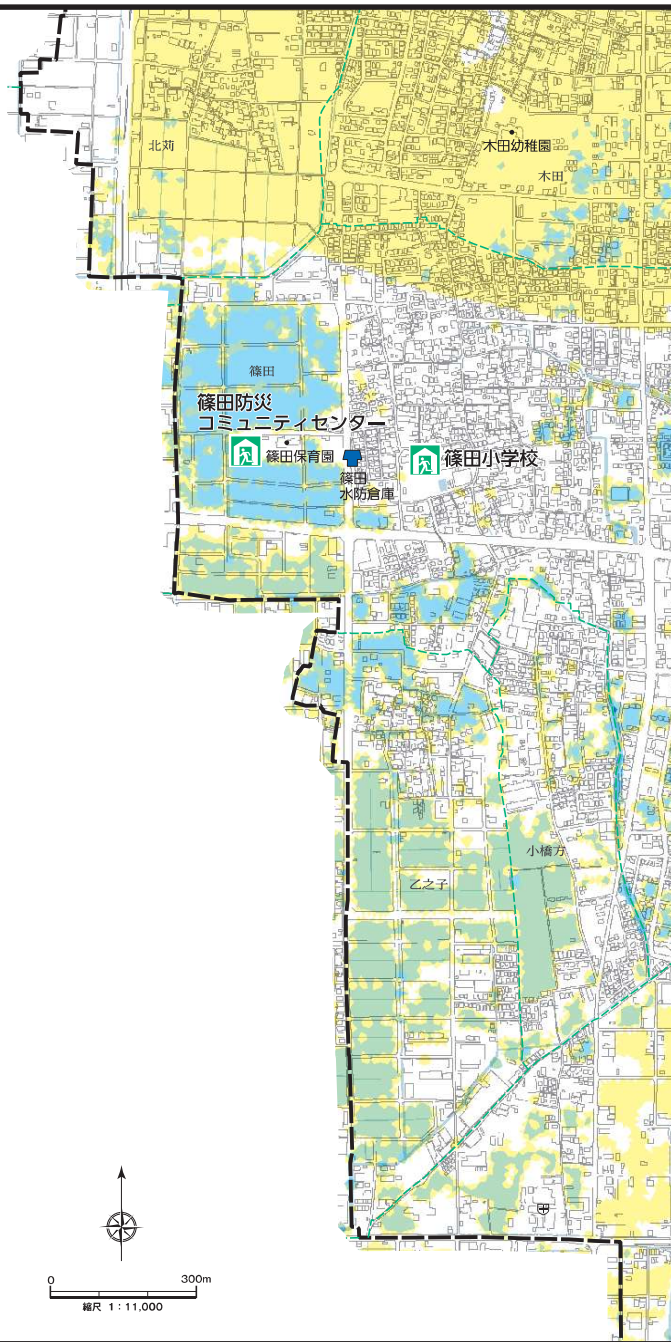


	風水害時、最も早い段階で開設される避難所
	災害の規模等に応じて開設される避難所
	排水機場
	水防倉庫
	地下道 (避難時危険箇所)

浸水した場合に想定される水深

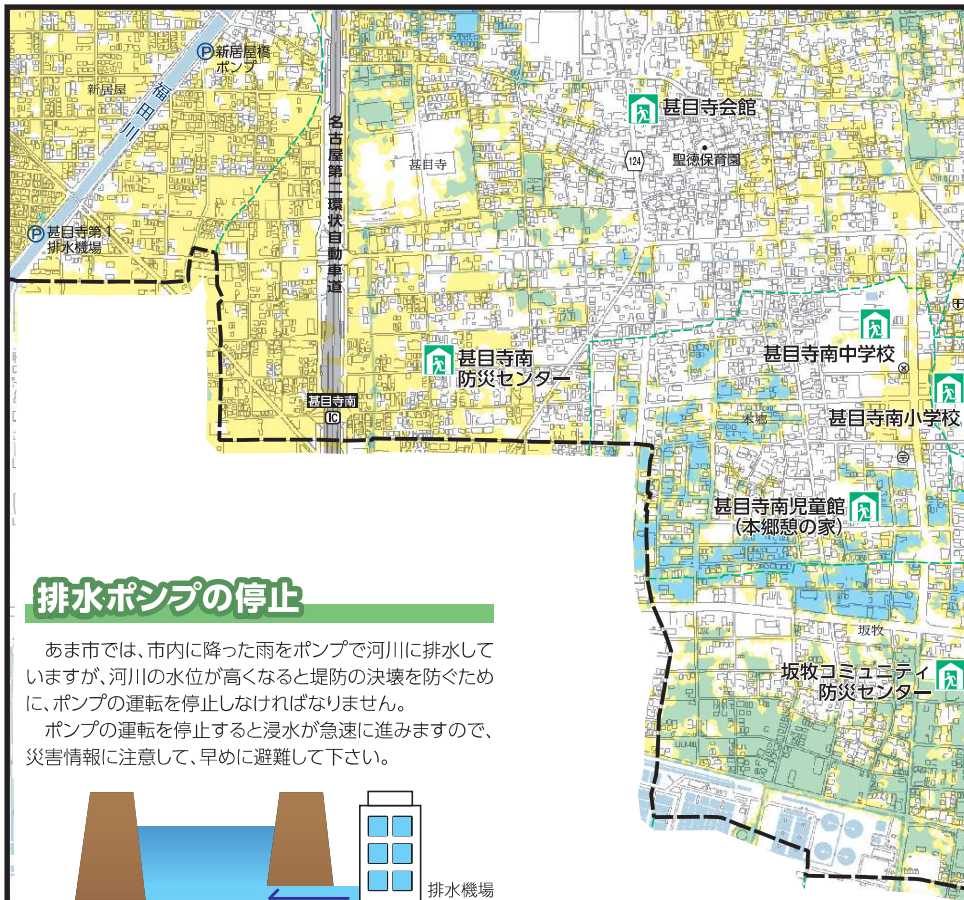


Dark Blue	2.0~5.0m 未満の区域
Light Blue	1.0~2.0m 未満の区域
Green	0.5~1.0m 未満の区域
Yellow	0.1~0.5m 未満の区域





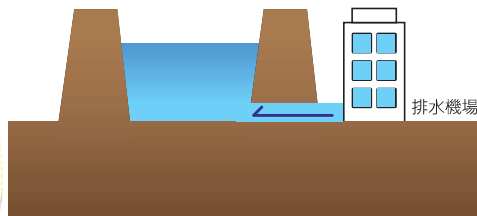
内水ハザードマップ 4



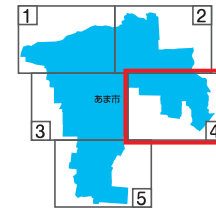
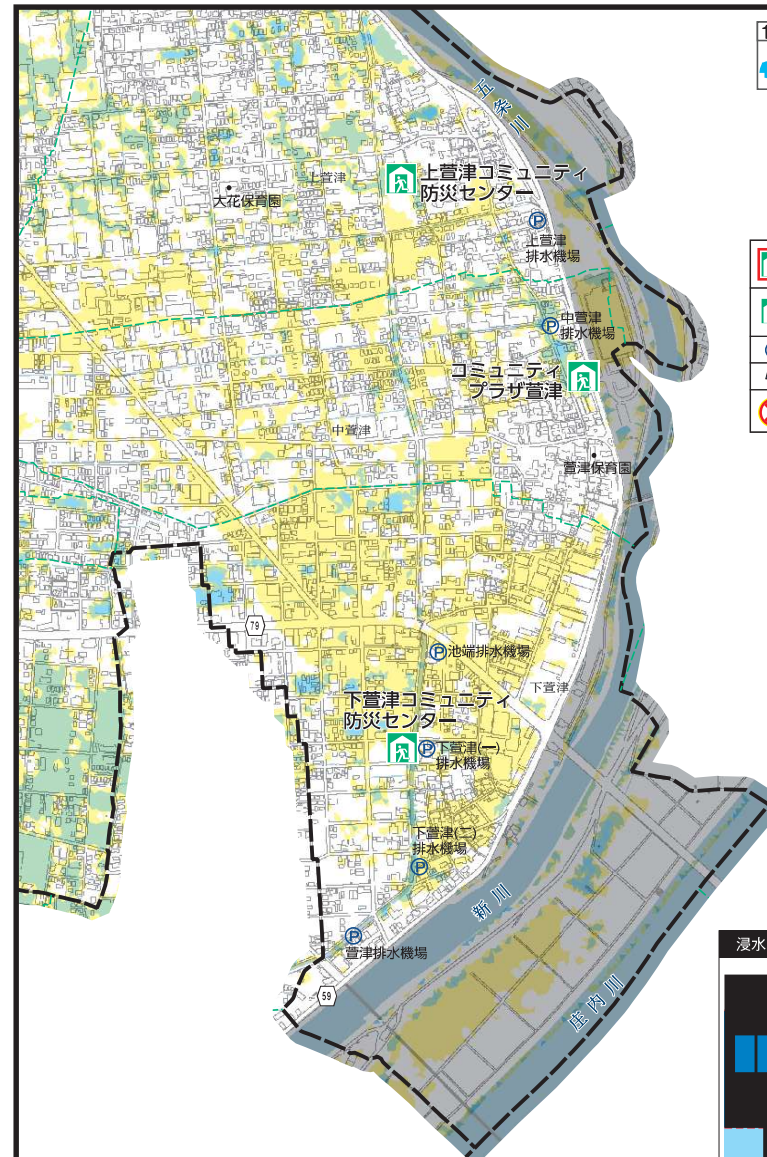
排水ポンプの停止

あま市では、市内に降った雨をポンプで河川に排水していますが、河川の水位が高くなると堤防の決壊を防ぐために、ポンプの運転を停止しなければなりません。

ポンプの運転を停止すると浸水が急速に進みますので、災害情報に注意して、早めに避難して下さい。



流域	ポンプ停止基準		対象施設 (排)・・・排水機場
	観測所	水位	
新川下流域	下之一色水位観測所	標高T.P.+2.90m	菅津(排)
五条川流域	春日水位観測所	標高T.P.+5.40m	梶村ポンプ場、上菅津(排)、中菅津(排)
日光川上流域	古瀬水位観測所	標高T.P.+1.70m	花ノ木(排)、蜂須賀(排)
日光川下流域	日光川内水位観測所	標高T.P.+1.35m	甚目寺第2(排)、甚目寺第3(排) 新居屋(排)、新居屋橋ポンプ、甚目寺第1(排) 土吐川(排)、秋竹(排)、木田(排) 篠田第2(排)、篠田(排)、四ヶ村(排) 神尾(排)、鷹居(排)、小切戸第2(排) 鯉橋(排)、小切戸(排)



- 風水害時、最も早い段階で開設される避難所
- 災害の規模等に応じて開設される避難所
- 排水機場
- 水防倉庫
- 地下道 (避難時危険箇所)

